Complex Cardiovascular Therapeutics

CCT

Structural Heart Diseases Course

日程 2025年1月18日(土)

会場 品川プリンスホテル　メインタワー

Challenge and Innovation

Web URL●https://cct.gr.jp/

Find us on

Facebook●https://www.facebook.com/CCTJAPAN/

Structural Heart Diseases

皆さん、こんにちは。今年もCCT-SHDを開催する時期となりました。1月に開催するようになり、無事に第2回を迎えることができました。今年は、皆が今知りたい、議論が尽きない、そんな領域でそれぞれの企画担当者が、非常に面白い分野を作成して下さりました。TAVI、Mitral、Tricuspid、LAAC、すべてのSHD領域を網羅するこの企画、どうぞ皆さんご参加くださいませ。

CCT Structural Heart Diseases Course Director
山本　真功（豊橋／名古屋／岐阜ハートセンター）

Course Directors

齋藤　滋
湘南鎌倉総合病院

林田　健太郎
慶應義塾大学

山本　真功
豊橋／名古屋／岐阜ハートセンター

Course Co-Directors

白井　伸一
小倉記念病院

原　英彦
東邦大学医療センター大橋病院

山中　太
湘南鎌倉総合病院

渡辺　弘之
東京ベイ・浦安市川医療センター

渡邊　雄介
帝京大学

日程

2025年1月18日（土）

会場

品川プリンスホテル
メインタワー 19F ゴールド

*会場開催
　Web配信、オンデマンド配信はございません

お問い合わせ

CCT事務取扱
〒440-0886 愛知県豊橋市東小田原町48番地セントラルレジデンス201
Tel: 0532-57-1275 / Fax: 0532-52-2883 / Email: secretariat@cct.gr.jp

参加登録

https://www.heartmeetings-plus.com/event/view?id=28

メディカル	3,000 円
メディカルスタッフ	1,000 円
企業	5,000 円

参加登録受付

メインタワー 19F ゴールド　ホワイエ
8:30-17:00

クローク

メインタワー2F をご利用下さい

Program at a glance

1月18日（土）

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
Main Hall 19F ゴールド	TAV-TAV ビデオライブ lifetime management（エドワーズライフサイエンス(同)）	Coffee Break Seminar（横河ネカメディックス）	現在使用できるデバイスの比較: 狭小弁輪	Luncheon Seminar（ボストン・サイエンティフィック ジャパン(株)）	PASCAL デバイスを自由自在に扱おう（エドワーズライフサイエンス(同)）	TEER後の予後改善のために何ができるか?（アボットメディカルジャパン(同)）	Debate:ぶっちゃけ PASCALとMitraClip どっちが良いの?	三尖弁治療の立ち上げ	症例から学ぶ! ここまで出来るEvolutの真価（日本メドトロニック(株)）	Navitorによる最新の治療法を深掘りする!（アボットメディカルジャパン(同)）

Complex Cardiovascular Therapeutics
CCT
Structural Heart Diseases Course

日程 2025年1月18日（土）
会場 品川プリンスホテル　19F ゴールド

Saturday, January 18

ビデオライブ

9:00-10:00 TAV in TAVビデオライブから学ぶ最先端のTAVI strategy

昨年は大変多くの方にTAV-in-TAVビデオライブの聴講にお越しいただき、誠にありがとうございました。昨年に引き続き、今年もTAV-in-TAV 症例をVideo Liveで提示させて頂きます。国外からの良好な臨床試験の結果は出つつあるものの、国内に限れば未だ100-200例の経験数であるTAV-in-TAVは、その手技の特性上、Sinus SequestrationによるCoronary Obstruction(CO)が起こりやすく、この術前リスク評価が良好な予後を確保するうえで重要とされております。しかし、COが危惧されるTAV-in-TAV症例に対する評価・治療方法に関する情報は限定的です。CTなどによる術前シミュレーションも施行症例数の少なさから十分にValidationできていないのが現状です。しかし、患者さんは待ってくれません。このような現状でCOリスクの高いTAV-in-TAV症例に、どのようにアプローチするか?
今年は昨年よりもTAV-in-TAV症例におけるCOリスクに関して、よりフォーカスして、実際に収録されたケースを通して皆さんと議論し、知見を深められればと考えております。
今年も会場で皆さんとお会いできることを心より楽しみにしております。

志村　徹郎（岐阜ハートセンター）

座長
八戸　大輔（札幌ハートセンター　札幌心臓血管クリニック）
福　康志（倉敷中央病院）

コメンテーター
髙木　健督（国立循環器病研究センター）
山﨑　和正（札幌東徳洲会病院）

ミニレクチャー
演者
小さくても大きなパワーS3URの底力
石津　賢一（小倉記念病院）

ビデオライブ
演者
TAV-TAVビデオライブ
志村　徹郎（岐阜ハートセンター）

共催：エドワーズライフサイエンス合同会社

Coffee Break Seminar

10:05-10:35 TAVIにおけるPre BAVの有用性とは

本邦でTAVIが行われるようになり10年が経ち、この間私たちの治療スタイル・スタンスは大きく変わりました。初期の頃に行っていた治療ステップのいくつかは省かれ、より短時間で手技を遂行する流れの中で生体弁留置前の前拡張(Pre BAV)が行われる機会はだいぶ減ってきたかと思います。Pre BAVの省略とTAVIの成功・不成功とはあまり関係ないかと思いますが、一方でPre BAVを省くことで生体弁の不均等拡張や弁輪に対して圧着不良が生じる懸念はあり、これらは血栓弁やPVLという長期予後に影響をもたらします。このセッションでは良好な長期成績を見据えたTAVIを行う時代でのPre BAVの有用性を議論したいと思います。是非ご参加ください!

日置　紘文（イムス東京葛飾総合病院）

座長
山本　真功（豊橋/名古屋/岐阜ハートセンター）

コメンテーター
古賀　将史（聖マリアンナ医科大学病院）
鈴山　寛人（済生会熊本病院）

演者
バルーン拡張型人工弁における前拡張は是である
日置　紘文（イムス東京葛飾総合病院）

自己拡張型人工弁における前拡張の新たな知見
土井　信一郎（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

共催：株式会社カネカメディックス

TAVI debate

10:40-11:40 現在使用できるデバイスの比較：狭小弁輪

狭小弁輪の症例を通してどの弁を使用して治療するか、を皆様でディスカッションすることがこのセッションの狙いです。ちなみに共催はどこかご覧ください。そう、ありません。そうです。皆様自由に発言していただくことが可能な時間でもあります。
まずは症例提示を行なっていただきそれぞれの解剖学的特徴をご提示いただいたのちに3人の演者の先生から各Valveの得意とする点、そして使用する目的などを話し合っていただきます。発表を元にコメンテータの先生も含めて熱いディスカッションで議論の内容を深めていきます。ただしルールは「お互いの弁の良さを認め合い、けなさない」上で「私ならこれを使用する」とします。聴講される先生方がぜひディスカッションに参加していただくことも大いに歓迎します!!
何を目的に、どんな効果を狙って、どんな合併症に気をつけながら、最大限の効果を出せる弁の選択を行うか、という初学者からベテランまでとても参考になるセッションです。ぜひ積極的なご参加をお待ちしております!

白井　伸一（小倉記念病院）

座長
大野　洋平（東海大学医学部付属病院）
白井　伸一（小倉記念病院）

コメンテーター
岡崎　真也（順天堂大学医学部附属順天堂医院）
水谷　一輝（札幌ハートセンター　札幌心臓血管クリニック）
山脇　理弘（横須賀市立うわまち病院）
竜崎　俊亘（慶應義塾大学）

演者
狭小弁輪に関する症例提示
林　昌臣（小倉記念病院）

私ならSAPIENだわ
岩田　樹里（慶應義塾大学）

俺ならEvolutだぜ
八島　史明（済生会宇都宮病院）

俺ならNAVITORだぜ
落合　智紀（湘南鎌倉総合病院）

ディベート；狭小弁輪を治療する際に弁の選択の基準

演者
種明かし
林　昌臣（小倉記念病院）

Luncheon Seminar

11:50-12:50 WATCHMANの適応と術後の薬剤レジメンを徹底討論!! (Debate)

LAACのランチョンセミナーは、日々悩むことの多い術後の抗血栓薬に関して、エキスパートの先生たちと徹底討論致します。
ついに発表されたWATCHMAN FLX Proの臨床データであるHEAL LAAを含む最新エビデンスを学んだ後に、最適な薬物レジメンと適応に関して熱い議論を交わして参ります。
LAACをやっている先生方はもちろんのこと、未実施の先生方にも多くの学びが含まれたセッションになっておりますので、是非ご参加ください!!

阿佐美　匡彦（三井記念病院）

座長
阿佐美　匡彦（三井記念病院）

コメンテーター
小野　幸代（倉敷中央病院）
中嶋　正貴（仙台厚生病院）
福永　真人（小倉記念病院）

演者
WATCHMAN™留置後の薬物レジメンを再考する
— FLX Proを深堀りして見えてくること —
阿佐美　匡彦（三井記念病院）

LAACの適応を再考する
山口　遼（豊橋ハートセンター）

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

PASCALセッション

12:55-13:25 PASCALデバイスを自由自在に扱おう

座長
林田　健太郎（慶應義塾大学）

コメンテーター
出雲　昌樹（聖マリアンナ医科大学）

演者
PASCAL描出のtipsと最新の臨床データ
鍵山　暢之（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

PASCAL ACE/P10の特徴について
遠田　佑介（仙台厚生病院）

共催：エドワーズライフサイエンス合同会社

MitraClipセッション

13:30-14:00 TEER後の予後改善のために何ができるか？

2024年に目標として掲げていたOCEAN-Mitralの論文「20」本達成がそろそろ見えてきました。
OCEAN-Mitral registryは、今や循環器内科領域のみならず心臓外科や小児循環器領域等でも存在感を示し始めています。
本セッションでは2024年にOCEAN-MitralからPublishされたインパクトのある論文、そしてこれからブラッシュアップすることで良い論文になるだろうProposalに注目して、TEER後の予後改善にできることを議論していきます。
より早く行きたいなら一人で進め、より遠くに行きたいなら皆で進め!2025年もOCEAN-SHDメンバーの皆さん、そしてTEER Heart teamに関わる全ての方のさらなる飛躍を祈念しております!!

佐地　真育（東邦大学医療センター大森病院）

座長
渡辺　弘之（東京ベイ・浦安市川医療センター）

コメンテーター
田中　旬（三井記念病院）
樋口　亮介（榊原記念病院）

演者
上質なTEER手技を求めて
柴橋　英次（東京女子医科大学病院）

OMTの最適化
吉田　彩乃（近畿大学）

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

TEER debate

14:05-15:05 Debate：ぶっちゃけPASCALとMitraClipどっちが良いの？

TEERのデバイスが2種類になって1年、使い分けに悩むことはありませんか?Elongationさせることができるパスカルと4種類のサイズがあるMitraClip、多彩な器質性MRにどのように使ったら良いのでしょうか?このセッションでは、PASCALにもMitraClipにも慣れ親しんだエキスパートの先生方と一緒に、この病変にはこっちだ!という熱いdiscussionを繰り広げたいと思います。

久保　俊介（倉敷中央病院）

座長
久保　俊介（倉敷中央病院）

演者
2症例提示
鶴田　ひかる（慶応義塾大学）

なぜMitraClipでなくPASCALか
佐地　真育（東邦大学医療センター大森病院）

なぜPASCALでなくMitraClipか
山口　淳一（東京女子医科大学）

症例の答え合わせ
鶴田　ひかる（慶応義塾大学）

MitraClipサポーター
パネリスト
堀田　怜（札幌ハートセンター　札幌心臓血管クリニック）
宗久　佳子（仙台厚生病院）

PASCALサポーター
パネリスト
泉　佑樹（榊原記念病院）
綱本　浩志（神戸大学/名古屋ハートセンター）

TRセッション

15:10-16:10 **三尖弁治療の立ち上げ**

さあ、三尖弁治療を立ち上げましょう!本セッションでは、いよいよ日本で導入されようとしているTriClipにfocusを当てます。どのようなシステムなのか、文献的にはどこまでわかっているのか、その術前後評価はどう見るか、術中に気をつけるべき点とは。症例を交えて、この新しい治療に期待できること、日本から発信できることを熱いパネリストで議論します!!　第2部ではビデオライブも用意する予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております!

桒田　真吾（聖マリアンナ医科大学）
杉浦　淳史（名古屋ハートセンター）

座長
桒田　真吾（聖マリアンナ医科大学）
杉浦　淳史（名古屋ハートセンター）

コメンテーター
伊藤　丈二（東京ベイ・浦安市川医療センター）
小暮　智仁（東京女子医科大学病院）
西願　誠（仙台厚生病院）
佐藤　寛大（島根大学）
柳澤　淳次（豊橋ハートセンター）

第一部

演者
総論 TriClipのエビデンスを見る
桒田　真吾（聖マリアンナ医科大学）

TriClipに向けた術前評価とガイドライン
北井　豪（国立循環器病研究センター）

症例提示 術中のイロハ
北村　光信（榊原記念病院）

TriClipの課題とOCEANが広げる未来
杉浦　淳史（名古屋ハートセンター）

第二部

演者
Video Live
杉浦　淳史（名古屋ハートセンター）

PCI after Evolut

16:15-17:05 **症例から学ぶ!
ここまで出来るEvolutの真価**

Evolut seriesは留置される方法も確立され、安定した成績を示しています。残る問題点は、アクセス不良時の対応と留置後の冠動脈アクセスです。本セッションでは、症例を通して、経験豊富な御施設からのtips and tricksを共有して頂き、これらの問題を解決する事を目的としています。明日の診療に活かせる構成にしていますので、是非、ご参加ください。

山中　太（湘南鎌倉総合病院）

座長
長沼 亨（新東京病院）
山中 太（湘南鎌倉総合病院）

ディスカッサント
片桐　勇貴（札幌東徳洲会病院）
上岡　智彦（東海大学医学部付属病院）
西岡　健司（広島市立広島市民病院）

①アクセス困難症例＿うちの施設ならこう攻めます!

演者
症例提示
杉山　耀一（湘南鎌倉総合病院）

How should I treat 1
由木　悠仁（新東京病院）

How should I treat 2
生田　旭宏（倉敷中央病院）

How did I treat
杉山　耀一（湘南鎌倉総合病院）

②PCI after TAVI＿困った時の次の一手!

演者
症例提示
坂田　新悟（慶應義塾大学）

How should I treat 1
大竹　諒（札幌ハートセンター　札幌心臓血管クリニック）

How should I treat 2_CT guide PCI
樋上　裕起（岐阜ハートセンター）

How did I treat
坂田　新悟　（慶應義塾大学）

共催：日本メドトロニック株式会社

Navitorセッション

17:10-18:00 Navitorによる最新の治療法を深掘りする！

このセッションでは、Navitorデバイスを用いた最新の治療アプローチについて、専門家が実践的な視点から議論します。
特にNavitorの適応と留置の工夫をテーマに、国内外で豊富な経験を持つ演者が、それぞれの臨床現場での経験に基づいて詳しく解説します。
デバイスの特性を最大限に活用するための具体的なヒントや参加者が日々の実臨床に直結する知識を持ち帰れる内容となっています。
明日からの治療に役立てていただければ幸いです。ぜひご参加ください!

渡邊　雄介（帝京大学）

座長
中澤　学（近畿大学）
渡邊　雄介（帝京大学）

コメンテーター
齋藤　滋（湘南鎌倉総合病院）
里見　夏子（仙台厚生病院）
野口　将彦（東京ベイ・浦安市川医療センター）

演者
私の考えるNavitorの使い所
荒川　雅崇（帝京大学）

私の考えるNavitor留置の工夫
森山　典晃（湘南鎌倉総合病院）

共催：アボットメディカルジャパン合同会社